

ARCHIV
FÜR
JAPANISCHE CHIRURGIE
XVII. BAND, 1. HEFT, 1. JANUAR 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 1 號

昭和 15 年 1 月 1 日 發行

— 內容目次 —

【原 著】

結核免疫特 = 經口免疫 = 關スル實驗的研究

第 1 報	結核菌 ^L コクテゲン ¹ 軟膏貼用 = 依ル血中抗結核菌増容素ノ產生 = 就テ	裕	文	雄	(1)
第 2 報	結核菌 ^L コクテゲン ¹ 靜脈内注射 = 依ル血中抗結核菌増容素ノ產生 = 就テ	裕	文	雄	(27)
第 3 報	結核菌 ^L コクテゲン ¹ 皮下注射 = 依ル血中抗結核菌増容素ノ產生 = 就テ	裕	文	雄	(35)
第 4 報	結核菌 ^L コクテゲン ¹ 注射家兔 = 於ケル全身免疫獲得程度ノ比較及ビ血中 產生増容素ノ値ト免疫程度トノ關係	裕	文	雄	(41)
第 5 報	結核菌煮免疫元ノ内服 = ヨル血中抗結核菌増容素ノ產生及ビ全身免疫獲 得程度	裕	文	雄	(48)
第 6 報	葡萄糖 (5 %) 加結核菌煮免疫元ノ内服 = ヨル血中抗結核菌増容素ノ產生 及ビ全身免疫獲得程度	裕	文	雄	(55)
第 7 報	結核菌煮免疫元經口免疫海狸ノ腹腔内結核感染實驗	裕	文	雄	(63)
第 8 報	葡萄糖加結核菌煮免疫元 = ヨル最大乃至強行的經口免疫海狸ノ腹腔内結 核感染實驗	裕	文	雄	(71)

急性腹膜炎時 = 於ケル大腸菌ノ尿中出现 = 就テ

第 1 報	實驗的腸管穿孔ノ場合	佐々木	義孝	(79)
第 2 報	實驗的腸管壁血行障碍 (壊死) ノ場合	佐々木	義孝	(100)
第 3 報	實驗的腸管通過障碍ノ場合	佐々木	義孝	(109)
第 4 報	各種菌液ヲ實驗的ニ腹腔内ヘ注入シタル場合	佐々木	義孝	(114)
第 5 報	臨床的検査成績	佐々木	義孝	(123)

【臨 床】

腸管囊腫様氣腫ノ 2 例 = 就テ	森	欣	一	(147)
膿胸ノ病原菌 = 就テ				
附 陳舊性移行ノ原因	村	上	治	朗 (161)
膽石症ノ症狀ヲ呈シタル多發性膽囊癌	武	田	實	彦 (175)

【臨 床 レ 線 學】

外科的疾患ノレ線診斷トソノ手術所見 (2)	藤	浪	修	一 (184)
-------------------------	---	---	---	-----------

【臨 床 瑣 談】

顔面脾脫疽ノ 1 例……福島謙一. 異常ナル急性化膿性乳房炎ノ臨床像ヲ呈セル乳癌ノ 1 例…… 松田孫一. 慢性纖維包裹性腹膜炎 (腸管膜様包裹症) ノ 1 例……内藤一男. 診斷困難ナリシ肝 臓肉腫ノ 1 例……山田憲吾. 外傷ノ續發シタル率丸惡性腫瘍ノ 1 例……福中一雄. 大腿頸部 骨折 = 對スル骨移植ト轉子間斜截骨術合併手術例……金將星. 麻痺性尖足 = 對スル足關節制 動術ノ 1 例……金將星. レ線像上骨肉腫ト診斷サレタル大腿骨幹結核ノ 1 例……渡邊三喜男				(191)
--	--	--	--	---------

【學 會 雜 纂】

クツシング博士逝ク	荒	木	千	里 (216)
-----------	---	---	---	-----------

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室内
日本外科寶函編輯室

ARCHIV FÜR JAPANISCHE CHIRURGIE

XVII. BAND, 2. HEFT, 1. MÄRZ 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 2 號

昭和 15 年 3 月 1 日 發行

— 目 次 —

【原 著】

Locus minoris resistentiae / 研究

第 1 報 皮下結締織—就テ	宮 永	貢 (227)
第 2 報 腎臟—就テ	宮 永	貢 (252)
第 3 報 腎臟 / Locus minoris resistentiae へノ感染豫防效果—於ケル「ワクチン」ト「コクチゲン」トノ差別	宮 永	貢 (259)
第 4 報 腎臟 / Locus minoris resistentiae 感染—對スル「ワクチン」及ビ「コクチゲン」ノ最小豫防量ノ確定	宮 永	貢 (268)
第 5 報 腎臟 / Locus minoris resistentiae 感染豫防—關スル免疫元種族特殊性ノ吟味	宮 永	貢 (275)
第 6 報 腎臟 / Locus minoris resistentiae ノ感染—對スル原「オムナヂン」及ビ兼「オムナヂン」ノ豫防效果	宮 永	貢 (286)
第 7 報 肋膜—就テ	宮 永	貢 (299)
第 8 報 肋膜 / Locus minoris resistentiae ノ感染—對スル同株菌「ワクチン」及ビ「コクチゲン」ノ豫防ノ差別	宮 永	貢 (305)
第 9 報 肋膜 / Locus minoris resistentiae ノ感染—對スル「ワクチン」ト「コクチゲン」トノ最小豫防量ノ測定	宮 永	貢 (310)
第 10 報 肋膜 / Locus minoris resistentiae 感染豫防作用—關スル免疫元種族特殊性ノ吟味	宮 永	貢 (317)
第 11 報 肋膜 / Locus minoris resistentiae 感染—對スル自働性局所免疫—就テ	宮 永	貢 (325)

腫瘍組織 / 抗元性—關スル研究

第 1 編 家兔血中抗牛赤血球溶解素產生ニ及ボス家鷄粘肉腫液ノ影響	伊 藤	進 (337)
第 2 編 家鷄粘肉腫生體液中ニ含有セラレタル「イムベヂン」ハレントゲン線ニ依リテ破却セラルルヤ	伊 藤	進 (359)
第 3 編 家鷄粘肉腫生體液中ニ含有セラレタル「イムベヂン」ハ紫外線ニヨリテ破却セラルルヤ	伊 藤	進 (373)
第 4 編 家鷄粘肉腫中ニ含有セララル「イムベヂン」ハ其ノ蛋白質側ニアリヤ或ハ類脂體側ニアリヤ	伊 藤	進 (386)
第 1 報 上澄液ヲ以テノ實驗		
第 2 報 濾液ヲ以テノ實驗		

超短波ノ胃腸ニ及ボス影響—關スル實驗的研究

第 1 報 超短波腹部並ニ間腦部透射ガ腹腔内並ニ胃内溫度ニ及ボス影響—就テ	宇 田 川	博 (403)
第 2 報 超短波ノ小腸運動ニ及ボス影響、特ニ自律神經系トノ關係—就テ	宇 田 川	博 (414)
第 3 報 超短波ノ胃運動ニ及ボス影響、特ニ自律神經系トノ關係—就テ	宇 田 川	博 (429)
第 4 報 超短波ノ大腸運動ニ及ボス影響	宇 田 川	博 (440)
第 5 報 超短波ノ胃液分泌量並ニ胃酸分泌ニ及ボス影響、特ニ超短波ト自律神經系トノ關係—就テ (其ノ一) 短時 間透射ノ影響	宇 田 川	博 (446)
第 6 報 超短波ノ胃液分泌量並ニ胃酸分泌ニ及ボス影響 (其ノ二) 毎日透射ノ影響	宇 田 川	博 (464)

超短波ノ胃液分泌機能ニ及ボス影響ノ臨牀的觀察	宇 田 川	博 (483)
超短波ノ實驗的家兔胃潰瘍治療現象ニ及ボス影響	宇 田 川	博 (493)

【臨 牀】

外科的疾患患者ニ於ケル「ヴァイタミン」A, B ₁ 並ニ C 代謝—就テ	村 上 治 朗	(504)
---	---------	-------

【臨 牀 レ 線 學】

「エンツエフアログラム」ニ於ケル正常的及ビ病的腦液像	荒 木 千 里	(515)
外科的疾患ノ線診斷トソノ手術所見 (3)	藤 汲 一	(522)

【臨 牀 瑣 談】

雙巢卵死組織ニ發生シタル瓦斯「フレグモネ」ノ 1 例	宇田川 博	上行並ニ下行結腸、直腸手術ニ對スル腹壁切開法ニ就テ
		森 欣一

【臨 牀 診 斷 ト 手 術 所 見】

診斷上興味アリシ大網膜腫瘍	野村一郎	肝臟痰腫 (Cystenleber)
		房岡隆三

【雜 纂】

A. v. Eiselsberg 教授ノ死ヲ悼ム	青 柳 安 藏	(533)
--------------------------	---------	-------

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITÄTSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室内

日本外科寶函編輯室

ARCHIV FÜR JAPANISCHE CHIRURGIE

XVII. BAND, 3. HEFT, 1. MAI 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 3 號

昭和 15 年 5 月 1 日 發行

目 次

【原 著】

局所免疫皮下ニ於ケル體液性免疫ノ研究	
第 1 報 局所免疫皮下ニ於ケル黃色葡萄球菌ノ最大喰盡作用ニ必要ナル同名菌 コクチゲン ¹ 軟膏ノ貼用時間ニ就テ	川 部 英 夫 (537)
第 2 報 健常皮下體液ニ於ケル黃色葡萄球菌ノ喰盡作用ヲ指標トセル同名菌 イムベゲン ¹ ノ立證	川 部 英 夫 (551)
第 3 報 局所免疫皮下ニ於ケル黃色葡萄球菌ノ最大喰盡作用ニ必要ナル同名菌 コクチゲン ¹ 軟膏塗擦時間ニ就テ	川 部 英 夫 (554)
第 4 報 局所免疫皮下ニ於ケル最大 ¹ オプソン ¹ 作用ノ發現ニ於ケル ¹ ワクチン ¹ ト煮 ¹ ワクチン ¹ トノ比較	川 部 英 夫 (557)
第 5 報 局所免疫皮下ニ於ケル特殊 ¹ オプソン ¹ 作用ニ對スル葡萄糖ノ影響	川 部 英 夫 (561)
第 6 報 免疫元軟膏塗擦貼用局所皮膚ノ皮下結締織中ニ於ケル増強 ¹ オプソン ¹ 作用ノ菌種特殊性	川 部 英 夫 (565)
諸種腸運動亢進劑ノ家兔正常及ビ腹膜炎性腸管運動並ニ呼吸及ビ全身血壓ニ及ボス 影響	宇 田 川 博 (574)
實驗的癲癇發作ノ研究	
第一編 腦實質ノ損傷ト癲癇發作ノ關係ニ就テノ實驗的研究	石 川 一 郎 (591)
第二編 腦實質ノ各種溶液ニ對スル融解性ニ關スル實驗的研究	石 川 一 郎 (613)
陳舊性膿胸遺殘死腔ノ免疫	
1. 自家 ¹ コクチゲン ¹ ヲ以テセル研究	村 上 治 朗 兎 一 郎 兎 一 字 野 目 上 野 目 市 川 博 信 守 (630)
2. 結核菌 ¹ コクチゲン ¹ ヲ以テセル研究	村 上 治 朗 兎 一 郎 兎 一 字 野 目 上 野 目 市 川 博 信 守 (641)

【臨 床】

原發性胃肉腫ノ 3 例	上 野 登 合 屋 千 市 川 博 代 村 上 治 信 吉 岡 治 朗 岡 岡 忠 夫 (648)
眞性彌蔓性乳房肥大症ノ 1 例	末 博 信 (670)
出血性素因ニ對スル ¹ グイタミン ¹ C ¹ ノ有效量ニ就テ	村 上 治 朗 (684)
膿胸性脊柱側彎症及ビ其ノ原因論の考察	岡 岡 忠 夫 (692)
腸間膜動脈性十二指腸閉塞症ノ 1 治驗例	吉 岡 忠 夫 (707)

【臨 床 瑣 談】

胃潰瘍穿孔手術後膽汁瘻ノ ¹ ブイヨンガーゼタンポン ¹ ニ依ル治驗例	野間 勇 蟲様突起粘 液囊腫ニ依ル迴腸終末部ノ絞扼性 ¹ イレウス ¹ 症ト其ノ發生機轉ニ關スル考察
液囊腫ニ依ル迴腸終末部ノ絞扼性 ¹ イレウス ¹ 症ト其ノ發生機轉ニ關スル考察	長岡 浩 生 後 13 日乳兒ノ ¹ ヘルニア ¹ 囊内蟲様突起炎ノ 1 治驗例
森下哲也 精系捻轉症ノ 1 例	横山 正夫 Albers-Schönberg 氏病ノ血液學的知見補遺
金將星	(715)

【臨 床 診 斷 ト 手 術 所 見】

脾臟腫瘍ト誤ラレタル孤立性腎臟囊腫	藤岡十郎 急性蟲様突起炎ノ臨床症狀ヲ呈セシ卵巢 囊腫破裂ノ 1 例
杉野良三	(720)

【雜 纂】

テオドール・ビルロートの書簡集から	ト庵老生 (723)
-------------------	------------

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室內
日本外科寶函編輯室

腸蠕動亢進劑



ワゴスチグミン

【集 成】

ワゴスチグミンは「メタオキシ
フエニル・トリメチルアンモニ
ウム・メチルスルファート・ヂメ
チルカルバミン酸エステル」の
〇・〇五%注射液にして該化合
物は「フイゾスチグミン」等に見
る如き諸器官に對する副作用な
く効力強く一定なる融點を示す
純粹なる化學的合成結晶なり。

【醫 治 効 用】

ワゴスチグミン一ccを注射するに下
腹收縮感を伴ひ注射後二〇—三〇分
後に蠕動亢進最大に達し腹鳴、排氣
排便の作用を表す。

【適 應 症】

手術後の腸管麻痺、鼓腸、排尿
固難、アトニー性便秘、移動性
長S字結腸症、産褥時、子宮癌
腹膜炎等の鼓腸、筋無力症其他
の筋萎縮等。

包裝 一cc五管入 一・八〇
五〇管入 一五・〇〇

製造發賣元



株式 塩野義商店

大阪市東區道修町
東京市日本橋區本町
滿洲國奉天松島町

強心劑の最高權威

強心呼吸興奮劑 強力・カンフル新誘導體

(日獨兩英米特
等 實 許 證)

理研 カンフェナール

【誇 る べき 五 大 特 長】

- ① 本劑は化學的純合成品なるが故に その内容及び効果は常に一定不變にして價格また頗る低廉なり
- ② 本劑は直接心臟に働き全然初期の抑制作用を伴はず よく心臟機能を旺盛ならしめ低血壓は上昇し高血壓は下降せしむ
- ③ 本劑は呼吸中樞を興奮せしめ 呼吸促進せるものは速かに呼吸数を減少し淺薄なる呼吸を増深す
- ④ 本劑の呼吸興奮作用は在來の強心劑に比し斷然優秀なり
- ⑤ 本劑は體內吸收後何等有害なる副作用なく絶對安全なることを確認さる

【適 應 症】

急性心臟衰弱 一般心臟疾患 血行障害 浮腫
急性虚脱狀態 呼吸困難 諸中毒 急性傳染病
小兒疫痢等の場合

1.0cc5錠(1.00) 10錠(1.90) 50錠(8.50)
2.0cc5錠(1.85) 10錠(3.50) 50錠(15.50)

製造元 財團法人 理 化 學 研 究 所
代理店 株式会社 藤 澤 友 吉 商 店
 大阪市東區道修町
 株式会社 田 邊 元 三 郎 商 店
 東京市日本橋區本町



KCX0V148

藤澤ビタミンD劑

オボラール

油 劑 10cc(1.70) 50cc(7.50)
錠 劑 100錠(1.30) 500錠(5.80)

純正なる照射エルゴステリンの植物油溶液

油 劑 は 50000 國 際 單 位 含 有
錠 劑 は 每 錠 2500 國 際 單 位 含 有

【適 應 症】

佝僂病 軟弱質 骨軟化症 結核性諸疾患
貧血 骨折 齲齒 癆瘵質 テタニー 妊娠
及授乳期 濕疹 レントゲン潰瘍 一般潰
瘍火傷等

株式会社 藤澤友吉商店
大阪・東京・京都・神戶

止血劑の權威 トロムボゲン

肺臟脾臟抽出ホルモン

本劑は血液凝固催進性止血劑にして氣腫 再出血或は粘膜を刺戟する等の副作用を伴はず連用に適するが故に各大病院著名醫院の各科に於て盛んに賞用せらる

【適應症】

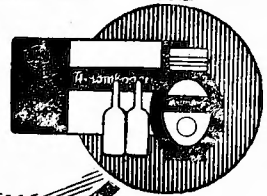
【内科】呼吸器出血 咯血 血痰 胃腸出血 腦出血 血液變異性諸病 【外科】外傷 手術時出血豫防 後出血制止
【耳鼻咽喉科】手術時 衄血其他 【泌尿器科】腎臟出血 膀胱出血 【婦人科】子宮出血 月經過多 其他小兒科 齒科

皮下注射用 2.5cc×6(2.00) 50(14.00)
5cc×6(3.00) 50(21.00)
10cc×6(4.50) 50(34.00)

内服用液劑 5g×6(2.00) 50(17.00)

内服用粉末 10g(0.80) 25g(1.60) 450g(2.70)

撒布用粉末 100g(5.00) 500g(22.50)
0.5g×5(2.00) 10g(2.00)



TxM14

株式會社

藤澤友吉商店

大阪市東區道徳町
東京市日本橋區本町
京城市西小門町
奉天市加茂町15

專賣特許

蛔蟲驅除新藥

マクニン

本劑は海人草特有の夾雜物及び臭味を完全に除去し その有效成分のみを分離抽出せるものにして その確實なる顯效は益々内外の信用を博し代表的國産藥品として聲價を昂揚しつつあり

(液 狀)
25g(1.05) 100g(3.85) 500g(17.50)
(粉 末)
25g(1.40) 100g(5.25) 500g(24.50)
(糖衣錠) 學童用
1000t(11.50)

腦下垂体後葉製劑

外科用 ピツグテシン

本劑は新鮮なる腦下垂体後葉より有效全成分を抽出せるものにして産科用ピツグラシンに比し約二倍強力作用あり 1cc中確實に20國際單位を含有する 即ち手術後の腸鬱血の場合腸蠕動を高め放屁排便に利し止血の効をも併有する また尿閉塞の場合には膀胱のトームスを調節し自然的排尿に至らしめる

【適應症】 腹腔内並びに骨盤内臓器手術後に續發する尿閉 腸管麻痺及び出血 夜尿症 尿崩症等

注射液 1.0cc 3a(4.00) 10a(12.00)

株式會社 藤澤友吉商店

大阪市東區道修町
東京市日本橋區本町
京城府西小門町
奉天市大和區加茂町



EXH142

痔疾・潰瘍・一般創傷
特效治療劑

ヘルミチン

卵黃油製劑

古來より火傷創傷に偉効を奏した卵黃油の代表的製劑として痔核・痔瘻を始め一般潰瘍性疾患に對し消炎鎮痛乾燥の効頗る迅速確實である

【軟膏】 一般潰瘍 外科創傷 火傷 凍傷 汗疱 頑癬其他肛門外部疾患

10g(0.45) 30g(0.90) 100g(2.00) 300g(5.00)

【坐藥】 内外痔核 痔出血 肛門潰裂 痔瘻 分娩後の脱肛 會陰裂傷等

5個(0.45) 10個(0.75) 30個(2.10) 100個(5.00)

出
ご
た
り
!

待望の



靜脈注射液

アルバジルが絶讃を博するに及び其の含有量濃厚完全なる靜脈注射液の完成が熱望された……………

そもそも、葡萄球菌・連鎖球菌・大腸菌及び淋菌に對シズルンオンアミド類は生体内に於ては或種物質に還元され、濃縮なく體力を發揮するものと想見されてゐる。然るに、血液中に迅速に吸收され易き注射液が最も理想なるに不拘、内服薬に出し從來歡迎せられざりし所以は熱れも排泄速かにして一定時間の所要濃縮に堪へず、加之、化學構造に何等變更を加へずその體靜脈注射液となす事は殆ど不可能と思惟されてゐた爲めである。

今回完成されしアルバジル靜脈注射液は斯る難點を克服せる二基ズルンオンアミドの高級組成にして而も特殊操作に依り、吸收迅速、加ふるに含有量濃厚なる爲め、所要濃縮量を満足せしめ加ふるに大量投與に依る副作用の危惧を根底より覆せる等内服薬以上にその眞價を發揮する理想的注射液である。御龍用を冀ふ。

包裝
100cc 五管
10管・五十管

株式會社 山之内藥品商會

大阪市東區高橋本五百
東京市日本橋區小舟町二
海外店：奉天・北京・廣東

月刊雜誌

日本循環器病學

本邦內科學の分科中既に消化器病、傳染病、結核、內分泌其他多數の學會があり、又泰西に於いては循環器病學會が已に十年乃至二十年の歴史を有するに拘らず、日本に於いては從來必要を叫ばれ乍らも獨立の運びに立到らなかつた事は寧ろ不思議の感があります。茲に同學諸賢の贊同を得て本學會は昭和十年四月に創立せられ、昭和十三年四月第十回日本醫學會に於いては其の一分科として總會が開かれたる新進の學會であります。

本雜誌は一方は學術發表機關なると同時に他方は實地家諸彦を對稱とした臨牀雜誌たらしめ臨牀綜說内外文獻抄録などを掲載し、其體裁も亦獨逸の臨牀週報 (Klinische Wochenschrift) に倣ひ且新味を帯び多忙なる醫人の通讀の便を工夫したものであります。右雜誌使命の在る所を諒とせられ奮つて御入會御援助あらん事を切望致します。

日本循環器病學會

一、會費 一年 五圓

一、申込所 京都帝國大學醫學部 內科學第三講座內

日本循環器病學會

投 稿 規 定

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行す。
- 原稿は歐文, 和文, 何れにてもよし。和文原著には歐文表題歐文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく、歐文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて羅馬数字を使用せられたく, 又「センチメートル」は厘を, 「グラム」は瓦を, 立方「センチメートル」は珎を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫, 曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。歐文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して12頁迄は無代なるも, それ以上は1頁につき, 實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。12頁以上の原稿にても, これを1回12頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも, 急を要せらるゝ向は, 特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て, 別刷御希望の方は, 御寄稿と同時に特に附言せられたく, 30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室, 外科實函編輯室宛, 御送附下されたし。

日本外科實函	定價	一 部	金壹圓貳拾錢	郵 稅 不 要
		一ヶ年分	金六 圓	郵 稅 不 要
	會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ			
廣告料	普 通 面	—	頁	金 拾 參 圓
	特 別 面	—	頁	金 貳 拾 圓
	表 紙	—	頁	金 參 拾 圓
	綴 込 廣 告 料	—	枚	金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十四年十二月廿五日印刷
昭和十五年一月一日發行

京都市左京區郡土寺眞如町四

編輯兼發行者 西 村 政 太 郎

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 者 福 井 松 之 助

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 所 株 式 會 社 似 玉 堂

京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所

日本外科實函編輯室

(猪子・伊藤兩教授記念會)

振替口座京都 3 6 9 1 番

賣 捌 所

東京市本郷區春木町三丁目

南 江 堂 書 店

電話小石川三五〇〇・振替東京一四九

同

京都市中京區寺町通御池南

南 江 堂 京 都 支 店

電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五

同

京都市丸太町通河原町東入

國 井 書 店

電話上二九九七・振替大阪一七二七七

出

ご

たり



待望の



靜脈注射液

アルバシールが絶讃を博するに及び其の含有量濃厚完全なる靜脈注射液の完成が熱望された……………

そもく補菌状球菌・連鎖状球菌・大腸菌及び淋菌に對しズルフオンアミド類は生体内に於ては或種物質に還元され、遺憾なく力を發揮するものと想見されてゐる。然るに、血液中に迅速に吸收され易き注射液が最も理想なるに不拘、内服薬に比し從來歡迎せられざりし所以は熱れも排泄速かにして一定時間の所要濃度に堪へず、加之、化學構造に何等變更を加へずその儘靜脈注射液となす事は殆ど不可能と思惟されてゐた爲めである。

今回完成されしアルバシール靜脈注射液は斯る難點を克服せる二基ズルフオンアミドの高級組成にして而も特殊操作に依り、吸收迅速、加ふるに含有量濃厚なる爲め、所要滞留量を満足せしめ加ふるに大量投與に依る副作用の危険を根底より覆せる等内服薬以上にその眞價を發揮する理想的注射液である。御寵用を冀ふ

包裝
(三%及五%)
二〇cc 五管
十管・五十管

株式會社 山之内藥品商會

大阪市東區高麗橋五丁目
東京市日本橋區小舟町二
海外店 一奉天 北京 廣東

皮下注射 の末出る



水溶性蒼鉛驅劑

チオビス

チオビスは唯一の水溶性蒼鉛劑にして筋肉と共に皮下に注射し得らる。而も使用時の疼痛なく硬結を遺さず故に婦人に於ては注射部位の選擇に悩むことなく容易に使用し得、アンギーナに對する時効は臨床界の驚異と激賞さる。

(包裝)

一號(0.25)10管 1.00
二號(0.25)10管 1.00
各號共無菌溶解水2.00管添附

發賣元

株式

田邊五兵衛商店

大阪市東區道修町



急性激症に注入し得る

頓挫新治淋劑 オトックス

スルホンアミド劑の發見により淋疾治療も飛躍的の進歩を見るに至つたが、決定的なる治療には局所療法の併用が必要である。
オトックスは急性初期の炎症の激烈なる時に於て無痛に注入し得られるから、局所は淋菌の生存繁殖に適せずして無菌状態となり頓挫的治療の目的を達するものである。

發賣元

大阪・道修町

株式

田邊五兵衛商店

オトックスA
500 2管 1.00
500 3管 1.50
オトックスB
500 2管 1.00
500 3管 1.50

強心呼吸中枢興奮劑

コルニチン



コルニチンは純國産ビリヂン、ベータカルボン酸
 イエチールアミドの二十五%水溶液にして……
 カンフルに比し、より持續的に強大なる強心作用と
 ロベリンに比し、より強力なる呼吸中枢興奮作用と
 を併備す、即ち
 呼吸及脈管中枢、心臟並腦皮質に作用し呼吸、循
 環、利尿一般障礙に對し迅速適確に治療的效果を
 發揮す

【適應症】 慢性血行障礙、心臟機能不
 全、各型脚氣、腎臟疾患、各種肺炎、
 氣管枝性喘息、呼吸困難、急性虛脫狀
 態、シヨック失神、傳染性疾患による
 心臟衰弱、手術前後の呼吸及循環障礙
 諸種藥物中毒、瓦斯中毒等

注射液	5A	1.00
(1cc)	50A	8.50
10A	100A	16.00
(5cc)	10A	8.20
内服液		
10cc	100cc	8.50
500cc		40.00

陸軍國産代用藥

製造發賣元

株式會社 塩野義商店

大阪市東區道修町
 支店 東京・奉天

投 稿 規 定

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行す。
- 原稿は歐文, 和文, 何れにてもよし。和文原著には歐文表題歐文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく、歐文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中、固有名詞はすべて固有の文字を、又数字はすべて羅馬数字を使用せられたく、又「センチメートル」は厘を、「グラム」は瓦を、立方「センチメートル」は珎を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫、曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。歐文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して12頁迄は無代なるも、それ以上は1頁につき、實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。12頁以上の原稿にても、これを1回12頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも、急を要せらるゝ向は、特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て、別刷御希望の方は、御寄稿と同時に特に附言せられたく、30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室、外科實函編輯室宛、御送附下されたし。

日 本 外 科 寶 函	定 價	一 部 一ヶ年分	金壹圓貳拾錢 金六 圓	郵 税 不 要 郵 税 不 要
		會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ		
廣 告 料		普 通 面	一 頁	金 拾 參 圓
		特 別 面	一 頁	金 貳 拾 圓
		表 紙	一 頁	金 參 拾 圓
		綴込廣告料	一 枚	金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十五年四月廿五日印刷
昭和十五年五月一日發行

京都市左京區淨土寺眞如町四
 編輯兼發行者 **西 村 政 太 郎**
 京都市中京區柳馬場通三條南入
 印 刷 者 **福 井 松 之 助**
 京都市中京區柳馬場通三條南入
 印 刷 所 **株 式 會 社 似 玉 堂**
 京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所

日本外科寶函編輯室

(猪子・伊藤兩教授記念會)

振替口座京都 3691番

賣 捌 所

東 京 市 本 郷 區 春 木 町 三 丁 目
南 江 堂 書 店
 電話小石川三五〇〇・振替東京一四九

同

京 都 市 中 京 區 寺 町 通 御 池 南
南 江 堂 京 都 支 店
 電話本局二〇三〇・振替大阪一一一五〇五

同

京 都 市 丸 太 町 通 河 原 町 東 入
國 井 書 店
 電話上二九九七・振替大阪一七二七七

ARCHIV FÜR JAPANISCHE CHIRURGIE

XVII. BAND, 4. HEFT, 1. JULI 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 4 號

昭和 15 年 7 月 1 日 發行

— 目 次 —

【原 著】

家兔實驗的眼結核 = 於ケル BCG ト結核菌 _L コクテゲン _T トノ豫防效果ノ比較		
第 1 報	BCG ト結核菌 _L コクテゲン _T トノ毒力ノ比較	藤原紫郎 (747)
第 2 報	結核菌 _L コクテゲン _T ニ依リテ達成シ得ル最大免疫程度 = 就テ	藤原紫郎 (759)
第 3 報	BCG = 依リテ達成シ得ル最大免疫程度 = 就テ 並ニ免疫獲得ノ全位相 = 於ケル BCG ト結核菌 _L コクテゲン _T トノ效力ノ比較	藤原紫郎 (781)
第 4 報	前房穿刺眼ト無穿刺眼トノ免疫效果ノ比較 並ニ此際 = 於ケル BCG ト結 核菌 _L コクテゲン _T トノ效果ノ比較 一血中產生抗結核菌免疫物質ヲ指標ト スル BCG ト結核菌 _L コクテゲン _T トノ效力ノ對比	藤原紫郎 (806)
BCG 生菌液ト BCG _L コクテゲン _T トノ免疫效果ノ比較		
第 1 報	肺臟内注射 = 依リテ產生セラレタル抗結核菌増容素ノ比較	藤原紫郎 (843)
第 2 報	BCG 免疫元ノ肺臟内注射 = ヨリテ獲得セラレタル全身性結核菌感染抵 抗力ノ比較	藤原紫郎 (857)
甲状腺ガ組織再生 = 及ボス影響 = 就テ		
其 一	骨損傷ノ場合	有本勤 (871)
實驗的全身感染症 = 於ケル輸血		
第 1 編	輸血後 = 於ケル血清ノ Bakterizidie = 就テ	房岡隆三 (906)

【臨 床】

消化管平滑筋腫ノ 3 症例		
第 1 編	胃平滑筋腫	市川博信 (954)
陳舊性膿胸患者ノ肝臟機能並ニ肝臟ノ組織學的變化 = 就テ		金原孫星 (961)
大理石骨病 (Albers-Schönberg 氏病) ノ血液學的知見補遺		金原孫星 (977)
胃運動ノ實驗的觀察法、特ニ胃固定筈 = 依ル胃運動曲線描畫法 = 就テ		金原孫星 (938)

【臨 床 レ 線 學】

幽門及十二指腸起始部 = 於ケルレ線検査法 (幽門狹窄ト十二指腸狹窄ノ鑑別診斷)	石野琢二郎 (1011)
---	--------------

【臨 床 瑣 談】

小脳々橋隅角部腫瘍 2 異型例	藤岡十郎	持続性限局性膿氣胸ノ治驗例	村上治朗	肺炎菌性腹膜炎ノ 1 例	蘇景陽	腸骨窩膿瘍ノ切開搔爬療法	長岡浩	所謂 Arthropathia psoriatica ノ 1 例	友國壽治	掌及ビ指骨 = 發生セル軟骨腫ノ 1 例	友國壽治	「チフス」性橈骨骨髓炎ノ 1 例	渡邊三喜男	Arthrogryposis multiplex congenita ノ 1 例	渡邊三喜男	(1019)
-----------------	------	---------------	------	--------------	-----	--------------	-----	----------------------------------	------	----------------------	------	------------------	-------	--	-------	--------

【臨 床 診 斷 ト 手 術 所 見】

脾膿瘍	杉野良三	(1028)
-----	------	--------

【學 會】

【雜 纂】

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室内
日本外科寶函編輯室

ARCHIV
FÜR
JAPANISCHE CHIRURGIE
XVII. BAND, 5. HEFT, 1. SEPT, 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 5 號

昭和 15 年 9 月 1 日 發行

==== 目 次 ====

【原 著】

保存血輸血ノ臨床的經驗									
第 1 編 氷室内保存血輸血ノ血壓、脈搏、呼吸、體温ニ及ボス影響	竹大須長	下橋古谷	篤義明	夫之正弘	合季村	屋末山	千祐	代吉勉	(1055)
實驗の全身感染症ニ於ケル輸血									
第 1 編 輸血後ニ於ケル網狀織内被細胞系統ノ機能ニ就テ						房岡隆			三(1106)
第 2 編 輸血後ニ於ケル血液像ノ變化並ニ體重増減ニ就テ						房岡隆			三(1145)
甲狀腺ガ組織再生ニ及ボス影響ニ就テ									
其 二 軟部損傷ノ場合									
腫瘍組織ノ抗原性ニ關スル研究									
第 5 編 家鶏粘液肉腫ニアルコホル抽出物質ヲ以テセル補體結合反應									
第 6 編 家兎肉腫ニアルコホル抽出物質ヲ以テセル補體結合反應									
第 7 編 人乳房肉腫ニアルコホル抽出物質ヲ以テセル補體結合反應									
人體ニ於ケル抗腸チフス菌經皮免疫ノ研究									
第 1 報 經皮免疫前虎置ニ續發スル血中ノ各種抗體									
第 2 報 免疫元軟膏中ニトロパコカインヲ混和セル場合ノ血中產生抗體ニ就テ									
第 3 報 人體ニ於ケル經皮免疫ノ效果ノ立證									
第 4 報 經皮免疫ニ依リテ獲得セラレタル後天性全身性自働免疫ノ持續期間ニ就テ									
感染體壁助膜缺損部ノ治癒ニ就テ									

【臨 床】

座式臍胸手術臺兼腦室内空氣注入用手術臺ノ考案									
附 臍胸排膿時ノ體位ニ就テ									
消化管平滑筋腫 3 症例									
第 2 編 十二指腸平滑筋肉腫									
手術ノ前後									

【臨 床 瑣 談】

術前ニ總腸間膜ノ存在ヲ知り得タ高度ノ廻盲部重積症	長岡 浩, 古谷ハム.	外傷性急性膀胱壞死ノ 1 例	西村敏雄.	手術後全身轉移ヲ惹起セル Hypernephrom ノ 1 例	渡邊三喜男.	多發性先天性關節強直ノ 1 例	三吉武敏, 山田憲吾.	再發性骨髓炎ノ骨瘻ニ發生セル扁平上皮瘻ノ 1 例	ト骨瘻閉鎖法ニ關スル 1 知見	山田憲吾.	脊髓内腫瘍(血管内皮細胞腫)ノ手術治驗例	金將星.	(1231)
--------------------------	-------------	----------------	-------	---------------------------------	--------	-----------------	-------------	--------------------------	-----------------	-------	----------------------	------	--------

【雜 纂】

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室内
日本外科寶函編輯室

ARCHIV FÜR JAPANISCHE CHIRURGIE

XVII. BAND, 6. HEFT, 1. NOV. 1940.

日本外科寶函

第 17 卷 第 6 號

昭和 15 年 11 月 1 日 發行

— 內容目次 —

【原 著】

Brown-Pearce 氏腫瘍ノ研究					
第 1 報	試験管内喰菌現象ニ及ボス Brown-Pearce 氏腫瘍ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1291)
第 2 報	流血中凝集素產生ニ及ボス Brown-Pearce 氏腫瘍ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1310)
第 3 報	流血中凝集素產生ニ及ボス健常家兎舉丸ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1321)
第 4 報	溶血素產生ニ及ボス Brown-Pearce 氏腫瘍ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1330)
第 5 報	溶血素產生ニ及ボス健常家兎舉丸ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1338)
第 6 報	溶血素產生ニ及ボス Brown-Pearce 氏腫瘍及ビ家兎健常舉丸ノ ¹ イムベチン ¹ 作用ノ追加	徐	丙	守	(1345)
第 7 報	血中沈澱素產生ニ及ボス Brown-Pearce 氏腫瘍ノ ¹ イムベチン ¹ 作用	徐	丙	守	(1352)
第 8 報	血中沈澱素ノ產生ニ及ボス健常家兎舉丸生・煮兩浸出液ノ作用	徐	丙	守	(1359)
實驗の全身感染症ニ於ケル輸血					
第 4 編	輸血ノ作用機轉ニ就テ	房	岡	隆	三(1366)
附	連續輸血ニ就テ	房	岡	隆	三(1392)
乳兒ニ於ケル肥厚性幽門狹窄症ニ對スル幽門成形術ノ實驗的研究		房	岡	隆	三(1405)
保腎血輸血ノ臨床的經驗					
第 2 編	室温並ニ 35°C 保存血輸血ノ血壓、脈搏、呼吸、體溫 ニ及ボス影響	竹	下	篤	夫、合
		大	橋	義	屋、末
		須	古	明	山、千
		長	谷	弘	代、吉
					祐、勉
					(1416)
各種胸廓成形術ノ血壓ニ及ボス影響ニ就テ		竹	内	次	郎(1438)
血中動員抗體量ニ立脚スル後天性獲得全身自働免疫程度ノ立證並ニ抗腸 ¹ チフス ¹ 菌軟膏免疫ト皮下注射免疫トノ比較					
第 1 報	血中產生特殊 ¹ オプソン ¹ ノ最大値ニ立脚スル ¹ コクチゲン ¹ ノ皮下注射免疫法ト軟膏免疫法トノ比較	永	井	亮	二(1453)
第 2 報	血中產生特殊凝集素ノ最大値ニ立脚スル ¹ コクチゲン ¹ ノ皮下注射免疫法ト軟膏免疫法トノ比較	永	井	亮	二(1460)
第 3 報	免疫前處置後 3 個月ニ於ケル試獸ノ血中抗體動員能力ニ就テ	永	井	亮	二(1463)
附	暫定的抗體量ト動員抗體量トノ對比	永	井	亮	二(1471)
第 4 報	免疫の前處置後 6 個月經過試獸ノ血中抗體動員能力ノ吟味	永	井	亮	二(1471)
¹ ウイタミン ¹ B ₁ ノ腹膜炎トシテ他開腹術後胃腸麻痺ニ對スル著明ナル治效ニ關スル臨床的實驗的研究		村	上	治	朗(1483)
		字	田	川	博
【臨 床】					
消化管平滑筋腫ノ 3 症例					
第 3 編	廻腸平滑筋纖維腫	市	川	博	信(1495)
Schnitzler 氏癌轉移ヲ思ハシメタル Hegar 氏症候ヲ伴ヘル結核性腹膜炎ノ 1 例ニ就テ		相	川	文	夫(1503)
正常胃ノ軸廻轉ニ就テ					
	(¹ 線像ニ於ケル胃ノ輪廓)	石	野	琢	二(1508)
手術ノ前後(第 2 講)		青	柳	安	誠(1517)

【雜 纂】

【會 員 動 靜】

INOKO-ITO-VEREIN
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

京都帝國大學醫學部外科學教室內
日本外科寶函編輯室

包 末 25瓦 100瓦
裝 錠 30錠 100錠

新鋭化学療法劑



第一、第二の基
ホルミアン
に優る！

本邦嚆矢のスルファピリチン

肺炎のトリアノン療法は今日最早不動のものとなつたがトリアノンに含まれる新鋭兵器の如き威力は益々その適應面を開拓し從來のスルホンアミド類では効果未だしとされた百日咳、脳膜炎、第四性病、トラコーマ等に對し著効を奏することが相踵く、追試によりて裏書せられた。殊に淋疾に對しては急性、慢性の別なく素晴しき成果を擧げ治療の本道を確立するものとして世界の視聽を集めてゐる。

トリアノン

發賣元 大阪 東區 道修町 田邊五兵衛商店

TR 27



急性激症に注入し得る

頓挫新治淋劑 オトックス

スルホンアミド劑の發見により淋疾治療も飛躍的の進歩を見るに至つたが、決定的なる治療には局所療法に併用が必要である。

オトックスは急性初期の炎症の激烈なる時に於て無痛に注入し得られるから、局所は淋菌の生存繁殖に適せずして無菌状態となり頓挫的治療の目的を達するものである。

發賣元

大阪・道修町 田邊五兵衛商店

オトックスA
500 2管 500
オトックスB
500 3管 500
オトックスC
500 4管 500

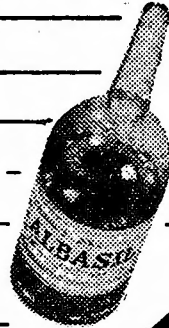
OX 12

ALB 48 B

出

ご

たり



待望の



静脈注射液

アルバジルが絶讃を博するに及び其の含有量濃厚完全なる静脈注射液の完成が熱望された……………

そもそも補菌状球菌・連鎖状球菌・大腸菌及び淋菌に對シスルファオンアミド類は生体内に於ては或種物質に還元され、遺憾なく働きを發揮するものと想見されてゐる。然るに、血液中に迅速に吸收され易き注射液が最も理想なるに不拘、内服薬に比し從來歡迎せられざりし所以は熟れも非迅速かにして一定時間の所要濃度に達せず、加之、化學構造に何等變更を加へずその静脈注射液となす事は殆ど不可能と思惟されてゐた爲めである。

今回完成されしアルバジル静脈注射液は斯る難點を克服せる二基スルフオンアミドの高級組成にして而も特殊操作に依り、吸收迅速、加ふるに含有量濃厚なる爲め、所要濃量を満足せしめ加ふるに大量に依る副作用の危険を根底より覆せる等内服薬以上にその眞價を發揮する理想的注射液である。御寵用を冀ふ。

包裝
三%及五%
二〇cc 五支
十管・五十管

株式
山之内藥品商會

大坂市東區高麗橋本丁目
東京市日本橋區小舟町二
海外店—奉天・北京・廣東

投 稿 規 定

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に發行す。
- 原稿は歐文, 和文, 何れにてもよし。和文原著には歐文表題歐文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく歐文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又數字はすべて羅馬數字を使用せられたく, 又「センチメートル」は「釐」を, 「グラム」は「瓦」を, 立方「センチメートル」は「耗」を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫, 曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。歐文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して12頁迄は無代なるも, それ以上は1頁につき, 實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。12頁以上の原稿にても, これを1回12頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも, 急を要せらるゝ向は, 特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て, 別刷御希望の方は, 御寄稿と同時に特に附言せられたく, 30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室, 外科寶函編輯室宛, 御送附下されたし。

日本外科寶函	定價	一 部	金壹圓貳拾錢	郵 稅 不 要
		一ヶ年分	金六 圓	郵 稅 不 要
	會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ			
廣告料	普 通 面	一	頁	金 拾 參 圓
	特 別 面	一	頁	金 貳 拾 圓
	表 紙	一	頁	金 參 拾 圓
	綴込廣告料	一	枚	金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十五年六月廿五日印刷
昭和十五年七月一日發行

京都市左京區淨土寺眞如町四
編輯兼發行者 西 村 政 太 郎
京都市中京區柳馬場通三條南入
印 刷 者 福 井 松 之 助
京都市中京區柳馬場通三條南入
印 刷 所 株 式 會 社 似 玉 堂
京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所 日本外科寶函編輯室
(猪子・伊藤兩教授記念會)
振替口座京都 3691番

賣 捌 所 東 京 市 本 郷 區 春 木 町 三 丁 目
南 江 堂 書 店
電話小石川三五〇〇・振替東京一四九

同 京 都 市 中 京 區 寺 町 通 池 田 南
南 江 堂 京 都 支 店
電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五

同 京 都 市 丸 太 町 通 河 原 町 東 入
國 井 書 店
電話上二九九七・振替大阪一七二七七

投 稿 規 定

- 本誌は毎年1月、3月、5月、7月、9月及び11月の1日に発行す。
- 原稿は欧文、和文、何れにてもよし。和文原著には欧文表題欧文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく欧文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中、固有名詞はすべて固有の文字を、又数字はすべて羅馬数字を使用せられたく、又「センチメートル」は「厘」を、「グラム」は「瓦」を、「立方センチメートル」は「匁」を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫、曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。欧文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して12頁迄は無代なるも、それ以上は1頁につき、實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。12頁以上の原稿にても、これを1回12頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも、急を要せらるゝ向は、特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て、別刷御希望の方は、御寄稿と同時に特に附言せられたく、30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室、外科賣函編輯室宛、御送附下されたし。

日本外科賣函	定價	一 部	金壹圓貳拾錢	郵 稅 不 要
		一ヶ年分	金六 圓	郵 稅 不 要
會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ				
廣告料	普 通 面	一	頁	金 拾 參 圓
	特 別 面	一	頁	金 貳 拾 圓
	表 紙	一	頁	金 參 拾 圓
	綴込廣告料	一	枚	金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十五年八月廿五日印刷
昭和十五年九月一日發行

京都市左京區淨土寺眞如町四

編輯兼發行者 西 村 政 太 郎

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 者 福 井 松 之 助

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 所 株 式 會 社 似 玉 堂

京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所 日本外科賣函編輯室

(猪子・伊藤兩教授記念會)

振替口座京都3691番

賣 捌 所

東京市本郷區春木町三丁目

南 江 堂 書 店

電話小石川三五〇・振替東京一四九

京都市中京區寺町通御池南

南 江 堂 京 都 支 店

電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五

同

京都市丸太町通河原町東入

國 井 書 店

電話上二九九七・振替大阪一七二七七

同

投 稿 規 定

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行す。
- 原稿は歐文, 和文, 何れにてもよし。和文原著には歐文表題歐文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく歐文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて羅馬数字を使用せられたく, 又「センチメートル」は厘を, 「グラム」は瓦を, 立方「センチメートル」は珎を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫, 曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。歐文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して8頁迄は無代なるも, それ以上は1頁につき, 實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。8頁以上の原稿にても, これを1回8頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも, 急を要せらるゝ場合は, 特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て, 別刷御希望の方は, 御寄稿と同時に特に附言せられたく, 30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室, 外科實函編輯室宛, 御送附下されたし。

日本外科寶函	定價	一 部	金壹圓貳拾錢	郵 稅 不 要
		一 年 分	金 六 圓	郵 稅 不 要
會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ				
廣 告 料	普 通 面	一	頁	金 拾 參 圓
	特 別 面	一	頁	金 貳 拾 圓
	表 紙	一	頁	金 參 拾 圓
	綴込廣告料	一	枚	金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十五年十月廿五日印刷
昭和十五年十一月一日發行

京都市左京區聖護院中町四

編輯兼發行者 中 田 寬 治

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 者 福 井 松 之 助

京都市中京區柳馬場通三條南入

印 刷 所 株 式 會 社 似 玉 堂

京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所

日本外科寶函編輯室

(猪子・伊藤兩教授記念會)

振替口座京都 3691番

賣 捌 所	東 京 市 本 郷 區 春 木 町 三 丁 目 南 江 堂 書 店 電話小石川三五〇・振替東京一四九
同	京 都 市 中 京 區 寺 町 通 御 池 南 南 江 堂 京 都 支 店 電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五
同	京 都 市 丸 太 町 通 河 原 町 東 入 國 井 書 店 電話上二九九七・振替大阪一七二七七

27